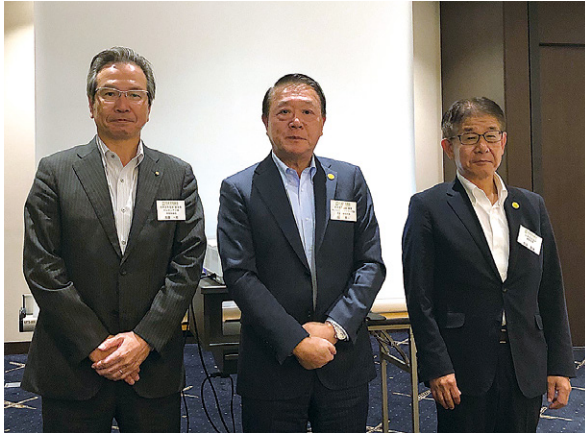


# 酒類・食品 & News 解説

## 週刊

令和6年7月26日(金曜日) 第3406号  
(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)  
毎週金曜日発行 編集発行人 石母田 健  
購読料 6ヵ月 14,300円(税込み)  
振替番号 東京4-71739  
発行所 株式会社日刊経済通信社  
本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階  
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600  
名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791  
http://www.nikkankeizai.co.jp/



## 上期の豆乳生産量 1.4%増で回復へ

日本豆乳協会は16日、今年度の活動に関する記者発表会を都内で開き、山崎孝一会長(キッコーマンソイフーズ社長・写真中央)、加藤一郎副会長(マルサンアイ常務取締役・同左) 杉谷智博事務局長(同右) が出席した。

冒頭、山崎会長は「昨年の記者発表会で『生産量100万klを狙える市場』と話したが、それだけのポテンシャルがあると見ている。今後大きな目標を持って美味しさや豆乳ならではの価値を伝え続けることが重要。」

今年はいつでも、どこでも「豆乳生活」をテーマにした新たな情報発信に取り組み。飲料として・食べもの(料理用途)として間口を広げながらより多くの方に楽しんでもらえるよう励みたい」など、あいさつ。

副会長が市場概況について  
「2020年に過去最高の生産量となる約43万klに到達して以降、反動や価格改定の影響もあり足踏み状態が続いたものの、24年上半期(1~6月)は前年比1.4%増と4年ぶりに回復。多くの方が健康的な生活を意識し、効果ができる豆乳に回帰している事などが推察される」などと説明した。

### 豆乳協会、'24年度は新企画を続々展開

283kl(0.9%増)、「果汁入り豆乳飲料」は7949kl(1.1%増)、「フレーバー系の豆乳飲料(その他)」は2万3389kl(3.1%減)、「その他」は6217kl(2.1%減)となった。

24年度は、さらなる豆乳市場の拡大を目指し、豆乳の日(10月12日)のある10月を「豆乳月間」と位置付け、新たな取り組みを続々と展開する。

①「豆乳×観光地パツケージキャンペーン」  
②「豆乳の日(10月12日)を含む

商品の提供、店舗内での豆乳キャンペーン、資料配布などを展開。実施店舗は①と同様に8月から応募形式で募集 ③豆乳摂取に関する消費者調査の実施 ④下期に一般生活者1万2000人を対象に豆乳の摂取状況やプラントベース食材に対する認知・関心について調査を予定 ④保育園を対象とした食育活動 ⑤下期に、園児とその保護者へ食育活動を展開し、より身近で親しみのあるものとしての定着を目指す。

このほか、ホームページ

### 主な内容

ニツカ、創業90周年 12 13面  
「ウインソ」120周年イベント 7面  
「AUCCB」30周年 3面  
カゴメプロダクトエレクト 4 5面

5月のみそ出荷量 9面  
フーズ新健康ブランド 14面  
産業界と冬の新製品 5面  
シアゴ春の冷食抽選会 11面  
トップサポート野瀬社長 15面  
直撃インタビュー 8面  
◎原料商品情報

また、高校生を中心とする食育活動として、全国の調理や栄養を学ぶ高校生を対象に「豆乳食育移動教室」「豆乳レシピ甲子園」を開催するほか、たんばく質の摂取によるアスリート支援として、全国の高等学校での豆乳のサンプリング「スポーツ×豆乳キャンペーン」、豆乳に関する資格制度「豆乳資格検定」も展開していく。

(柴田明子)



ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。 キリンビール株式会社